

問1 2000年から2010年にかけてのアフリカ州では、人口増加率が約27.6%と他の地域に比べて非常に高い数値を示しています。この人口の変化が土地利用に与えた影響について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 東京都公立入試 類似）

- 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。
- 急速な工業化が進んだことで、工場用地や都市を整備するために森林が伐採され、農地も工業団地へと作り替えられた。
- 砂漠化の進行によって居住に適さない土地が増えたため、残された森林を保護し、限られた農地を都市部へと転換した。
- 人口増加による労働力不足を解消するため、機械化による大規模農業が普及し、不要になった森林をすべて牧草地へと変えた。

問2 アフリカ大陸の気候帯の分布とその特徴について説明したものとして、正しい記述はどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

- サハラ砂漠などの乾燥帯が大陸の四割以上を占め、次いで赤道周辺を中心に熱帯が広く分布している。
- 日本と同じような温暖湿潤気候を含む温帯が、大陸全体の面積の六割以上を占めている。
- シベリアのような広大な針葉樹林が広がる亜寒帯が、大陸の大部分を占めている。
- 南極大陸と同様に、一年中氷と雪に覆われる寒帯が大陸の南端まで広がっている。

問3 アフリカ州の資源と産業について述べた次の文のうち、レアメタルの特徴や具体例を説明しているものとして最も適切なものはどれか。（2023年 静岡公立入試 類似）

- スマートフォンなどの電子機器に使われるコバルトのように、埋蔵量が少なく希少価値が高い金属である。
- 金や銀のように、主に装飾品としての利用や資産としての貯蔵を目的とした金属である。
- ボーキサイトから精錬されるアルミニウムのように、軽くて加工しやすいため航空機の機体に使われる金属である。
- 鉄鉱石のように世界中に広く分布し、安価で大量に採掘できるため建築資材の主軸となる金属である。

問4 緯線や経線に沿って引かれた直線的な国境線は、現代のアフリカにおいてどのような問題を引き起こす要因となっていますか。その影響について述べたものとして適切なものを選びなさい。（2017年 三重公立入試 類似）

- 同一の民族が複数の国に分断されたり、敵対する民族が同じ国に共存したりすることによる紛争の発生
- 地形を無視して国境を定めただけにより、国境付近での大規模な農業開発が不可能になったこと
- ヨーロッパ諸国の言語が国をまたいで普及したことで、独自の民族文化がすべて消失したこと
- 直線的な国境線は防衛が困難であるため、近隣諸国との間で軍備増強競争が過熱していること

問5 アフリカ大陸北東部のエジプト周辺の地図を確認すると、西部のリビアとの境界や南部のスーダンとの境界が、複雑な地形を無視した真っすぐな線で描かれています。このような国境線の特徴を説明した用語として、適切なものはどれですか。（2026年

愛媛公立入試 類似）

- 経線や緯度を利用した、人為的・数理的な国境
- 高い山脈の尾根をつないで設定された、自然国境
- 大きな河川の中央を境界とした、地形的な国境
- 海岸線の形に合わせて引かれた、入り組んだ国境

問6 エジプトの人口構成は、15歳未満の人口が全体の約4分の1（25.7%）を占める一方で、65歳以上の人口は約7%に留まっています。このような人口動態を持つ国が、将来を見据えて優先的に取り組むべき政策上の課題として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

- 増え続ける若年層のための教育環境の整備や、将来の雇用の創出。
- 労働力不足を解消するための、外国人労働者の積極的な受け入れ。
- 急激な人口減少に伴う、国内市場の縮小への対策。
- 超高齢社会への移行に対応するための、介護施設の拡充と年金制度の抜本的改革。

問7 2015年の統計において、世界のダイヤモンド生産量の約33%を占めるロシアに次ぎ、世界第2位（約16%）の生産量を誇るアフリカ南部の国はどこですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- ボツワナ
- コンゴ民主共和国
- 南アフリカ共和国
- ブラジル

問8 世界地図において、紅海の南側に位置し、東部の「アフリカの角」と呼ばれる地域に含まれるエチオピアなどの国々が属する大陸はどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

- アフリカ大陸
- ユーラシア大陸
- 南アメリカ大陸
- オーストラリア大陸

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。	アフリカ州は世界的に見ても人口増加率が極めて高く、2000年代の10年間で約27.6%もの増加を記録しています。この急激な人口増加に対応するためには、人々の生活を支えるための食料を確保しなければなりません。そのため、もともとあった森林を切り拓いて耕作地へと作り替える「農地転用」が大規模に行われました。統計上も、森林面積の減少と農地面積の増加が顕著に現れており、これがアフリカにおける主要な環境問題の一つとなっています。工業化や砂漠化も地域的な課題ではありますが、この時期の広域的な土地利用の変化は、主に人口増加に伴う食料問題に起因しています。
問2	<b>答え 1</b> サハラ砂漠などの乾燥帯が大陸の四割以上を占め、次いで赤道周辺を中心に熱帯が広く分布している。	アフリカ大陸は低緯度に位置しているため、熱帯と乾燥帯だけで面積の約八割以上を占めています。統計上も乾燥帯が約四十六点七パーセント、熱帯が約三十八点六パーセントとなっており、温帯は大陸の北端や南端の一部に限られ、亜寒帯や寒帯は存在しません。
問3	<b>答え 1</b> スマートフォンなどの電子機器に使われるコバルトのように、埋蔵量が少なく希少価値が高い金属である。	アフリカ州、特にコンゴ民主共和国などではコバルトなどのレアメタルが産出されます。これらは産出地が限定されており、現代のデジタル社会を支える電子部品の製造に極めて重要な役割を果たしていますが、その希少性から価格の変動や供給不足が問題になることがあります。
問4	<b>答え 1</b> 同一の民族が複数の国に分断されたり、敵対する民族が同じ国に共存したりすることによる紛争の発生	植民地支配時代に引かれた人為的な国境線は、民族の居住範囲を無視したものでした。独立後、一つの国家内に複数の民族が混在したり、一つの民族が複数の国家に分断されたりしたことが、政治的不安や内戦、国境をめぐる紛争が絶えない大きな背景となっています。
問5	<b>答え 1</b> 経線や緯度を利用した、人為的・数理的な国境	山脈、河川、湖などの自然の地形を利用した国境を「自然国境」と呼ぶのに対し、経緯線などを利用した国境は「数理的国境」と呼ばれます。エジプト周辺のような砂漠地帯では、目印となる自然地形が乏しいこともあり、地図上の数値を基準とした直線的な国境が多く採用されています。これは人間が意図的に引いた「人為的な境界」の代表例です。
問6	<b>答え 1</b> 増え続ける若年層のための教育環境の整備や、将来の雇用の創出。	若年層の割合が高い人口構成は、将来的に豊富な労働力をもたらす可能性（人口ボーナス）を秘めています。同時に、膨大な数の子供たちに対する学校教育の普及や、彼らが成人した際に失業しないための産業育成が不可欠となります。日本や欧米諸国が直面している「労働力不足」や「社会保障制度の維持」といった課題とは、優先すべき方向性が大きく異なります。
問7	<b>答え 1</b> ボツワナ	アフリカ大陸南部に位置するボツワナは、鉱業が経済の柱となっており、特にダイヤモンドは世界有数の生産量を誇ります。統計データではロシアが首位ですが、ボツワナも世界の約6分の1を占める重要な生産国です。南アフリカ共和国やコンゴ民主共和国も鉱産資源が豊富ですが、この統計における第2位のシェアはボツワナの特徴です。
問8	<b>答え 1</b> アフリカ大陸	エチオピアは大陸の東部に位置しており、その形状から「アフリカの角」とも呼ばれる地域の一部です。この大陸は赤道を挟んで南北に広がり、サハラ砂漠やナイル川といった広大な自然地形を有していることが特徴です。